

進路選択及び心身の健康に係る支援について

①生徒の状況把握・・・年4回の「生徒支援会議」開催

新入生については、入学時にいただく中学校からの情報や、本校職員による中学校訪問で得た情報を、在校生については、普段の面接指導時の様子や学習状況、家庭の状況などの情報をそれぞれ共有し、生徒の支援に役立てています。

②スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)の有効活用

深い悩みや課題を抱える生徒が多く在籍する通信制高校は、「セーフティーネット」の役割を持っていると考えます。SCについてはほぼ毎月一回、SSWについては必要なときに要請し、来校してもらっています。

③生徒への丁寧な声かけ

レポート作成や登校（面接指導の出席）に関してこまめに連絡を取ったり、レポート提出時に必ず声をかけ励ましたりするなど、日常の様々な「声かけ」を大事にしています。

「通信制」ですので、生徒に毎日会えません。対面で生徒と話ができる機会は、職員にとっても貴重な時間になっています。丁寧にじっくりと、生徒と向き合うよう心掛けています。

④キャリア教育の充実・・・学校設定科目「キャリアデザイン」の開講

R6年度から、学校設定科目の「キャリアデザイン」を開講しています。進路探究に関する外部講師らによる5講座を展開する「キャリアデザインA」と、自己探究に関する外部講師らによる5講座を展開する「キャリアデザインB」の2科目を、隔年で開講します。R8年度は「A」を開講しています。R9年度は「B」を開講予定です。

⑤進路選択に向けた、徹底した進路指導

進学希望者には、積極的な進学模試の受験や看護体験への参加を勧めます。自己の学力や適性を見極める機会としています。

就職希望者には、産業事情説明会への参加を勧めます。また、HR担任をはじめとする教員やハローワーク職員等による模擬面接を繰り返し行い、就職試験に臨む準備をします。